

## 令和 6 年度 学校経営計画

### 1 学校教育目標

校訓「高きを求め 誠に生きん」のもと、生徒の可能性を伸ばす学習指導、生徒指導、進路指導の充実を図るため、

- ア 勉学の意義を理解させ、積極的に学ぶ意欲を養う
  - イ 文武一貫の精神を理解させ、優れた人間性を養う
  - ウ 健康の尊さを理解させ、健全でたくましい心身を養う
- ことを目標とする

### 2 学校の特徴

本校は昭和 37 年、当時 15 歳人口が急増し、高校進学率が 60%を超え、さらに向学の意欲が醸成され大学進学をめざす気運が高まる中、地域の熱い期待を担い創校された。以来、文武両道の精神のもと、勉学と部活動を両立する普通科高校として、着実にその実績を積み重ねてきた。平成 9 年には、自然科学分野においてリーダーとして活躍する人材の育成をめざし、自然科学コースを設置し、更なる発展を期して教育活動を実践している。

### 3 学校の現状と課題

本校生徒は素直で何事にも誠意をもって取り組んでいるものの、能動的・意欲的な取り組みは必ずしも十分とは言えない。

今後の高度な情報化、グローバル化や人工知能の進化といった社会的変化による複雑で予測困難な時代においては、生徒一人ひとりが変化に主体的に向き合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。

本校生徒が将来、富山県の有為な人材として活躍するためには、自ら課題を見つけ、計画を立て、主体的に解決できるようになること、また社会の変化を冷静に把握し、適切に判断して行動できる力を身につけることが必要である。この観点から、生徒のもっている資質や能力を一段と高め発展させるために、次の学校課題を設定して、その対策を講じ、具体的な取り組みを行う。

学校課題 「自己の目標を高く掲げ、豊かな人間形成をめざす生徒の育成」

#### 4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
1	学習活動  <b>重点 1</b>  <b>重点 2</b>  <b>重点 8</b>	目標	<p>①生徒の学力を向上させ、各自が進路目標を達成できる教育課程を編成する。</p> <p>②各教科の指導を通して、単に学力を身に付けるだけでなく、深い教養を身に付けた人間形成をめざし、積極的に学習に取り組もうとする生徒を育てる。</p> <p>③総合的な探究の時間の指導を通して、進路への意識を高め、学ぶ意識や学び方など主体的・創造的に取り組む態度を養う。また、主権者としての自覚を促し、必要な知識の習得と判断力の養成を進める。</p> <p>④自然科学コースの生徒の指導では、探究活動を通して、自然科学への関心や探究心を高める。</p> <p>⑤授業におけるICT利用を推進する。(Google for Educationの活用)</p>
		計画	<p>①生徒の進路・適性に応じて幅広い選択が可能で、教科・科目に関してより多様な履修を可能にする。自然科学コースでは、学校設定科目の充実を図る。</p> <p>②確実な基礎学力を付けるために、授業を中心とした学習習慣を確立し、予習・復習を主とした家庭学習を充実させる。</p> <p>③全教員による学習指導研修等により、教科指導の充実と学力向上に努める。</p> <p>④総合的な探究の時間では、進路学習やテーマ学習(分野別学習)、主権者教育を充実させ、視野の広い生徒を育てる。</p> <p>⑤自然科学コースの指導では、校外研修や課題研究に主体的に取り組ませ、自然科学への関心や探究心をさらに高める。</p> <p>⑥主体的・対話的で深い学びをICTで実現する授業を進める。</p>
2	学校生活  <b>重点 3</b>  <b>重点 4</b>	目標	<p>自らの心身を守り、育て、健康に生きる主体者としての能力を身に付けさせるとともに、生活環境の美化および環境問題に対する意識の高揚を図り、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎力を培う。</p> <p>生徒の自主性・自律心を養い、規範意識の向上を図り、高い目標と強い意志をもって努力する心身ともにたくましい生徒を育てる。</p>
		計画	<p>①日常の健康保持増進に関する指導や、自らの健康観察を通して、心身ともに健康で明るい生活ができるよう指導する。</p> <p>②環境美化及び環境問題に関心を持たせ、積極的実践力を身に付けさせる。</p> <p>③日頃から自己の体力向上や食習慣について関心を高め、自主的に健康を管理する大切さを認識させる。</p> <p>④あらゆる教育の場において、生徒との面談や対話を心がけ、相互の連帯感を深め合うとともに、諸調査により、生徒及びそれを取りまく環境を理解し、効果的な指導・支援を行う。</p> <p>⑤生徒会(執行部・自律委員会)活動を支援しながら、生徒自らが自覚と責任をもち、主体的に高校生活に取り組むことができるように指導・支援を行う。</p>

項 目		目標・方針及び計画	
3	進路支援 <b>重点5</b>	目標	自己の適性を見極めさせ、適切な進路選択ができる生徒を育成する。また、進路目標の実現に向けて、学力を養成するためのサポートを学校全体で行う。
		計画	①「文武一貫」指導の考え方や意義を共通理解し、各学年・分掌・部活動顧問間で連携を図りながら、3年間を見通した進路指導を行う。また、時間管理を徹底させ、目標実現に必要な努力を続ける姿勢を育てる。 ②ホームルーム活動、総合的な探究の時間、面接、進路講演会、進路座談会等の進路学習を通して進路意識を高め、早期に進路目標を決定させる。 ③入試問題を分析し、教科担当者の授業力向上と、課題・模試等の応用を行い、進路実現の学力養成につなげる。
4	特別活動 <b>重点6</b> <b>重点7</b>	目標	生徒の自主的、自発的活動の場を可能な限り多く設定し、その活動を通して責任、協調、進取の能力を養うとともに、豊かな人間関係や実りある学校生活を築くことができる人間性を育成する。
		計画	①教職員と生徒の共通理解の上に立って、年間を見通した学校行事計画を立て、内容や運営方法に工夫を加えていく。また、特別活動の目的や意義を明確にし、生徒一人ひとりが意欲的、積極的に参加することにより、自立的な態度や実践的行動力を育成する。 ②部活動は限られた時間を創意工夫し、有効に活用することにより、内容の充実と競技力・技術力の向上に努める。また、そこで培われた主体性・積極性を勉学に生かし、「文武一貫」を実践する。 ③生徒会活動での、集団の一員として、よりよい学校生活づくりに参画、実践する経験を通して、望ましい人間関係を形成する態度を育てる。 ④オリエンテーションや授業・HRを通して、主体的な読書習慣を身に付けさせるとともに、生徒のニーズに対応できる蔵書の充実に努める。
5	P T A活動 同窓会活動 <b>重点9</b>	目標	開かれた学校づくりに努め、保護者及び同窓生との連携・交流を推進する。また、保護者が生徒の進路選択のための情報を得やすくなるように工夫する。
		計画	①P T A、教育振興会、部活動後援会等の諸会合や各会報を通して、本校の教育活動を広く紹介するとともに、保護者との連携、及び同窓生との交流の推進を図る。 ②P T A進路指導委員会主催の「大学訪問」で、保護者との情報の共有化を図る。 ③本校勤務の同窓生との連携を強化し、同窓会組織と運営の充実に努める。

## 5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 1 —	
重点項目	学習活動
重点課題	公開授業を実施することで、自らの研修・研究に積極的に取り組み、教科指導力や授業力の向上に努める。
現 状	現行学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、ICT機器等の授業への有効活用を図ることで、より効果的で生徒が意欲的に学ぶことのできる指導方法を研究する必要がある。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の授業公開・・・年間一人1回以上の実施</li> <li>・公開授業実施後及び他の授業の参観後に相互評価・意見交換したことで、参考になったと思える回数・・・2回以上</li> <li>・ICT等を活用した授業の実施回数・・・年間一人35回以上</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の公開授業を積極的に行い、教科指導力や授業の質を高めると同時に、ICT機器等の授業への効果的な導入を研究するなど、授業の工夫・改善を図る。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 2 —	
重点項目	学習活動（自然科学コースの指導）
重点課題	自然科学コースの指導では校外研修や理数探究に積極的に取り組ませ、自然科学に対する興味や関心を高め、主体的に探究する態度を育成する。
現 状	研修や実習のメニューは充実してきているが、生徒の学習の効果がより高まるよう、一つ一つの行事の内容を検証して改善する必要がある。
達成目標	校外研修や理数探究が学習や進路希望等に活かされたと思う生徒の割合・・・80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学コースの専門科目や行事（筑波研修、理数探究の中間講評会、自然科学コース発表会など）の内容の充実を図る。</li> <li>・校内の自然科学コース担当外の先生方に校内のコース行事に参加してもらう。</li> <li>・高校と大学との連携を強化する。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 3 —	
重点項目	学校生活（保健指導）
重点課題	情報端末の使用による心身への影響を考え、健康を自己管理する意識を高め、健やかな学校生活を送ることができる生徒を育成する。
現 状	<p>①自分のからだの健康な状態のリズムを自覚し、それを維持するための生活に主体的に取り組むことができる生徒</p> <p>②体調が悪くなったとき、その原因を考えることができる生徒</p> <p>これら①②を達成するための知識理解と意思決定・行動選択ができる生徒が本校の目指す生徒像である。</p> <p>昨年度の健康生活に関する生徒アンケート（R5.7月、R6.1月の2回実施）によると、寝不足の原因として「スマホ・PCの使用」が約60%、「ゲーム」が約15%と看過できない結果であった。日頃から学習、部活動、睡眠の各時間の確保に苦心しているはずにも関わらず、情報端末の使用が、心身の健康に悪影響を及ぼしていることは明白である。情報端末使用による自身の健康課題に気づき、健康を自己管理する意識の向上が求められる。</p>
達成目標	情報端末の使用が健康に及ぼす影響を理解し、自身の健康課題に気づき、「改善に努める」と回答する生徒が70%以上。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒に健康生活に関するアンケートを実施（5月、1月の年2回）し、実態を把握するとともに、各自が生活を振り返る。</li> <li>・日常のさまざまな教育活動の中で、「保健だより」「相談室だより」などを通して、「健康」についての意識の向上を図る。</li> <li>・学校保健委員会で、アンケート結果をもとに、学校側、保護者の立場から問題を明確にし、健康な生活の実現のため、意見交換を行う。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 4 —	
重点項目	学校生活（生徒指導）
重点課題	生徒の規範意識を高め、自主・自律の向上を図る。 ～「交通安全」「スマートフォンの使い方」に関する生徒の主体的な取り組み～
現 状	昨年度までのアンケート結果から年々規範意識は高まっているが、さらに交通ルールの遵守やマナーの向上（ヘルメット着用）を促し、事故を減少、怪我の重症化を防ぐ必要がある。また、スマートフォンの利用時間が2時間を超える生徒の割合が2割強あり、健康面・学習面への影響が懸念される。
達成目標	<p>主体的に課題を解決し、適切に判断し行動できる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車事故の減少（0を目標に）</li> <li>・スマートフォンの利用時間2時間未満・・・80%以上</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会（執行部・自律委員会）活動を支援しながら、生徒一人ひとりが主体的に自覚と責任をもった行動が実践できるよう指導を行う。</li> <li>・さわやか運動、校門指導、交通安全指導などを通して、規範意識やマナーの向上、交通事故削減を図る。また、各学年・各部活動とも協力しながら、さまざまな教育活動を通して支援・指導を行う。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 5 —	
重点項目	進路支援
重点課題	進路目標を達成するため、日々の学習時間を十分に確保させる。また、進路意識を高めさせ、目標実現に必要な努力を続ける姿勢を育てる。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の適性、能力に対する認識が曖昧であり、適切な進路選択を主体的に行うことができない生徒がいる。</li> <li>・ 時間管理が不十分で学習習慣が確立されていないため、目標実現に必要な家庭学習時間が確保されておらず、学力が不足がちである。</li> </ul>
達成目標	<p>週間学習時間の学年目標達成率。1週間の合計学習時間の学年目標は1・2学年は20時間、3年生は30時間である。</p> <p>1、2年生・・・60%以上 3年生・・・80%以上</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2年生は4・7・9・11・1月に、3年生は4・7・9・11月にそれぞれ学習時間調査を行い、担任、授業担当、部活動顧問等による面談や学年集会、ホームルーム活動等を通して、時間管理能力を養わせ、家庭学習の充実を図る。</li> <li>・ 学習実態調査後に、調査結果を個票で生徒個人に知らせて、家庭学習量と学習計画を見直させ、学習習慣を改善させる。</li> <li>・ 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育・職業教育を推進し、生き方や在り方を考えさせる中で、学びの必要性を説き、学習意欲を喚起させる。大学訪問やオープンキャンパスを通して、目標とする大学について考えさせる。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 6 —	
重点項目	特別活動
重点課題	部活動・学校行事・生徒会活動などを、生徒の自立性・内発性を引き出す機会と捉え、実践力のある生徒の育成や人間力の向上を図る。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 限られた環境（活動場所・活動時間）の中で、生徒は学習と部活動との両立を目指しながら励んでいる。</li> <li>・ 伝統的な本校の学校行事や生徒会主催の行事が、生徒の自主的実践力を高めている。</li> </ul>
達成目標	「体育大会」や「球技大会」、「部活動」において生徒が自主的に参加した割合・・・70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃の学習活動の成果を生かしつつ、豊かな人間関係の育成に努めさせ、体育的な活動、文化的な活動を創造し発信させる。</li> <li>・ 学校行事や部活動、生徒会主催の行事を生徒が中心となって企画運営することにより、自主的実践力やリーダー性を養う。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 7 —	
重点項目	特別活動
重点課題	図書館利用の向上を図るとともに、読書習慣を身に付ける。
現 状	生徒は主体的な読書活動に乏しく、図書室での貸出冊数も少ないのが現状である。課題解決、進路探究、小論文など必要とする場面で、図書館内の文献や資料を探したり、活用する仕方や習慣があまり身につけておらず、図書館を積極的に活用できていない。
達成目標	生徒1人あたりの年間読書冊数・・・平均5.0冊以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員による本の紹介、図書館だよりの発行、読書感想文の募集、読書会、その他図書委員会活動を通して、校内の読書活動を推進する。昨年度からの課題である生徒が読みたい本をそろえることにより、図書館利用を促進させる。</li> <li>・図書館オリエンテーションを通じて、主体的に図書館を利用するように指導する。また、2学年においては、図書室での小論文の資料の探し方を実践する。</li> <li>・自然科学コースの課題研究、各教科の課題、生徒の進路に役立つ書籍や資料について図書選定委員会・学年・コース・教科と連携して、それらの配置の充実に努める。</li> <li>・クラス読書会では、いろいろな分野の本を取り上げて生徒の興味と関心を引き出し、読書の深化と領域拡大を図る。</li> <li>・図書館を授業においても一層活用するために、Wi-Fi環境を整えた。今後、タブレット等を用いて、効果的な図書館の利用の推進を図る。</li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 8 —	
重点項目	その他（ICTの利用推進）
重点課題	授業のICT化推進（Google for Educationの授業活用）
現 状	生徒はタブレットを活用する仕方や習慣が徐々に増えてきた。しかし、主体的ではなく、リテラシーを向上させなければならない。クラスルームを利用する授業が確実に増加してきている。しかし、授業での教師側の利用が限定的である。また、Formsを利用した集計作業の実施は、生徒からの回答率の少なさから、普及していない。
達成目標	授業や家庭での生徒の一人一台タブレットの利用時間 ・・・一人一週間あたり2時間以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の方策 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業デザイン：主体的・対話的で深い学びをICTで実現する授業の工夫</li> <li>互見授業：教務と協力し推進</li> <li>ICT利用：課題の提示・回収・採点 授業解説動画などの公開</li> </ul> </li> <li>・生徒へのアクション <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスルームの活用を提示</li> <li>Formsなどのアプリケーションの利用推進</li> </ul> </li> </ul>

令和6年度 富山東高等学校アクションプラン — 9 —

重点項目	その他（PTA活動）
重点課題	保護者との連携及び同窓生との交流の推進を図る。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門委員会を年に3回実施しているが、保護者のPTAクラス役員の参加が少ないように感じる。</li> <li>・同窓会総会への参加者が年々減少しており、活動が低迷ぎみである。同窓会会報の代わりにSNSの活用について検討中である。</li> </ul>
達成目標	「PTA行事」での参加者の満足度・・・85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動に関心を高くするために、PTA行事を充実させ、PTA各会合や研修について参加したいと感じる魅力あるものにする。</li> <li>・PTA行事実施後は参加保護者に対してアンケートを実施し、今後の取り組みに活かしていく。</li> <li>・同窓生に対して、本校の活動などを知ってもらうための新しい形の情報宣伝活動を考えなくてはならない。</li> </ul>